

平成26年度 (一社) 岐阜県観光連盟事業計画

I 実施方針

個人のライフスタイルの変化による若年層の旅行離れが進む一方、アクティブシニアと呼ばれる中高年層の市場が拡大している。また、団体旅行から個人旅行への旅行形態の変化、体験型観光へのニーズが高まるなど、観光スタイルが多様化している。さらには、インターネットを利用した旅行取引の拡大や、東南アジアを中心とした地域からの外国人来訪者の急増など、観光産業を取り巻く環境は大きく変化している。

平成26年度は、こうした観光産業を取り巻く環境に的確に対応するため、県の観光戦略と歩調を合わせながら、会員の商品販売に直結する事業に重点的に取り組むこととし、「県内外からの宿泊旅行者の誘客」「おもてなしの向上」「異業種との連携」を柱とした事業を展開する。

II 事業概要

ア 理事会・総会 (2,040千円)
総会：通常総会 年1回(6月下旬)
理事会：年4回(5月下旬、6月下旬、10月下旬、3月中旬)
正副会長会議：年3回(5月中旬、9月下旬、2月下旬)

イ 観光誘客促進事業 (38,903千円)
1 県内外からの旅行者の誘客 (24,856千円)
(1) 三大都市圏に狙いを定めた旅行商品の造成と誘客PR (19,969千円)

本県への観光入込客の約7割を占める中京圏に加え、人口規模が大きい首都圏、関西圏からの誘客拡大を図るため、都市圏ごとに戦略を立て、宿泊旅行商品の企画・販売の促進やPR活動を展開する。

<中京圏> 宿泊リピーターの確保

宿泊客の2割を占める愛知県を中心とする中京圏からの宿泊リピーターの確保を図るため、メディア、旅行会社等へのプロモーションを展開する。

- ①高山本線・中央本線等を活用し、地元市町村、交通事業者等と連携した中京圏を発着とする旅行商品の造成販売の促進
- ②県、沿線市町及びJR東海が協働して取り組む高山本線80周年記念事業に参画し、会員市町の支援や記念商品等の販売を促進
- ③名古屋主要駅等における観光物産展の開催
- ④高速道路会社等と連携した冬の誘客キャンペーンの実施
- ⑤「飛騨・美濃観光名古屋センター(名古屋・中日ビル)」において、来訪者やメディア、旅行会社等への継続的な情報発信と会員等が実施する観光プロモーション等を支援

<関西圏> 高山本線80周年を契機としたディスカバー岐阜

今年10月に全線開通80周年を迎える高山本線や、利便性の高い高速道路網等を活かし、認知度の向上と新たな需要の掘り起こしを進める。

- ①県、沿線市町及びJR東海が協働して取り組む高山本線80周年記念事業に参画し、会員市町の支援や記念商品等の販売を促進【再掲】
- ②高山本線・中央本線等を活用し、地元市町村、交通事業者等と連携した関西圏を発着とする旅行商品の造成販売の促進

- ③関西主要都市における観光物産展の開催
- ④大阪での観光商談会の開催
- ⑤高速道路会社等と連携した冬の誘客キャンペーンの実施【再掲】

<首都圏> 北陸新幹線開業を契機とした誘客促進

平成26年度末の北陸新幹線金沢開業などを契機とした宿泊客の獲得と宿泊日数の拡大を図る。

- ①飛騨地域の市村やJR東日本、二次交通事業者などと連携し、北陸新幹線を利用する旅行商品の造成・販売を支援
- ②首都圏における観光物産展の開催
- ③東京での観光商談会の開催

<三大都市圏共通>

①観光クーポンラリー事業の展開

主要観光施設、土産物店、旅館・ホテル等で利用できるクーポン特典付きのスタンプラリー事業を展開し、スタンプ数に応じて豪華賞品をプレゼント。会員旅館・ホテルでの宿泊者には賞品を拡充。三大都市圏を中心にプロモーションを展開。

- ・実施期間 1回目 平成26年7～11月（5月間）
- 2回目 平成26年12月～平成27年5月（6月間）

②旅行会社・メディアの招請

商談会に参加した旅行会社等を招請して県内視察を行い、旅行商品の造成・販売を促進

(2) ストーリー性を持った宿泊旅行商品の造成・販売を促進 (2,493千円)

本県の豊かな歴史、文化、自然など様々な観光資源を組み入れたストーリー性を持った宿泊旅行商品の造成・販売を促進する。

- ①地域のストーリー性のある観光資源を活用した宿泊旅行商品の造成支援
- ②ホームページを活用した産業観光、教育旅行等の誘致強化
- ③航空機を利用した宿泊旅行商品の造成・販売

(3) 外国人観光客の更なる拡大に向けた取組みの強化 (2,394千円)

海外における本県知名度やブランドイメージの定着と、訪日旅行の拡大が見込まれる東南アジアを中心とする外国人個人旅行者への誘客促進を国、県、会員等と連携し展開する。

- ①近隣県と連携したインドネシアからの外国人個人旅行者の誘客を促進(VJ地方連携事業)
- ②外国の旅行会社、航空事業者等との連携による誘客

2 おもてなしの向上 (11,695千円)

(1) 観光資源等の魅力向上 (3,870千円)

市町村、観光事業者等が有する観光資源やサービスを活かし、宿泊客の誘致につながる広域観光地づくりに向けたソフト事業を実施する。

- ①観光クーポンラリー事業の展開【再掲】
- ②観光旅館・観光土産品の推奨【会員支援事業】

観光旅館の資質向上と観光旅館業界の育成を図り、また、観光土産品の品質の向上と観光土産品業界の育成を図るため、一定の基準を満たす推奨旅館・推奨土産品を認定。

また、推奨土産品の販売促進を図るためのガイドブックを作成する。

(2) 観光産業を支える人材の育成 (997千円)

岐阜県を訪れる観光客の満足度を向上させ、リピーターの増加を図るため、観光従事者のお

もてなし力向上につながる顕彰、研修等を実施する。

①観光事業功労者及び優良従業員の表彰【会員支援事業】

県内観光産業の発展を目的に、長年にわたり観光事業に尽力した功労者、観光事業に従事した優良従業員を表彰

②現地視察研修の実施【会員支援事業】

県内観光事業者等のおもてなし力向上を図るため、県内外の観光先進地の取り組みを学び、県内全体の観光産業の底上げの一助とするための研修会を実施

(3) 国内外の観光客を受け入れる環境整備

(6, 828千円)

岐阜県公式ホームページ「ぎふの旅ガイド」の情報を最適化するとともに、旅行商品を企画する旅行会社にとっても情報を入手し易い環境を整備する。

①「ぎふの旅ガイド」を活用した情報発信の強化

インターネットを活用した誘客や観光商品等の販売を強化するため、季節に応じた特集ページの作成や最新情報の発信など適正な管理に努める。また、「ぎふの旅ガイド」の多言語化（タイ語、インドネシア語、フランス語）対応や利用者を引きつける機能追加を実施。

3 異業種との連携

(1) 多様な取組主体との連携による観光PRの推進

(2, 352千円)

会員観光事業者同士の連携はもちろんのこと、会員外の異業種等の事業者とも連携を図り、各事業者の得意分野を活かしたプロモーションを実施

①地場産品や農産物の異業種事業者とも連携した観光物産展の開催【再掲】

②日本自動車連盟（JAF）岐阜支部と連携したJAF会員向け観光のPR

③地域のストーリー性のある観光資源を活用した宿泊旅行商品の造成支援【再掲】

④なごやかサロンぎふ四水会の運営

中京圏の各界関係者が集まる四水会において、岐阜県の各種施策、事業活動の推進に向けて有益な情報や人材の発掘とネットワークの構築を図るとともに、観光・モノ・食をセットにした観光誘客PRを展開

⑤親善大使・観光特使・応援隊を活用したプロモーション

岐阜県にゆかりのある著名人や飲食店経営者等を親善大使・観光特使として委嘱。大使・特使の人脈やPR機会を活用し、岐阜県観光のイメージアップを図る。